



校訓

「夢を持って歩み続ける」

陽光(さん)

令和8年1月13日 第19号 文責 梶原 圭一



2026年も夢をもち 光かがやく中部っ子

新年 あけましておめでとうございます。2026年も本校の教育活動に対して、ご理解並びにご協力をよろしくお願い申し上げます。

後期前半終了日に子どもたちに向けて、「新しい年を迎えるにあたり、『こんなことをしたい』『こんなふうになりたい』という目標を立てましょう」とお願いをしていました。子どもたちは、どんな目標を考えてくれたのか楽しみにしていました。それぞれの学年で、今年目標を紹介し合う時間が設けられていたようでした。6年生の教室も見ると、今年目標を書初めとして掲示してありました。それぞれの文字に思いが込められてあり、一人一人の目標達成に向けて、しっかり応援していきたいと思いました。

子どもたちには、本校の子どもたちに身に付けてほしい3つの力を基に、特に頑張してほしい取組を伝えました。**『自ら考え行動する力』**では、**「自分を大切にするように、友達を大切にできる考動(こうどう)」**について話しました。自分の言動は、相手を傷つけていないか考え、思いやりの心を広げてほしいと伝えました。**『思いを伝え合う力』**では、**「気持ちのよいあいさつと「ありがとう」の気持ちを言葉で伝える力」**を伸ばしてほしいと話しました。**『粘り強く取り組む力』**は、**「いやだ」「できない」という自分の弱い心に負けず、努力しようとする気持ち」**を大切にしてほしいと伝えました。

あと50日ほどで、子どもたちは次のステージへと進級していきます。学年の学習のまとめをしっかりと行くとともに、子どもたち一人一人が自信と期待をもって進級できるよう、全職員で教育活動を進めていきたいと考えています。また、笑顔あふれるみんなの学校を、子どもたちと共に創っていききたいと思います。後期後半も、よろしくお願いいたします。



【山都町から見た初日の出】



学校教育目標

夢をもち 光かがやく中部っ子

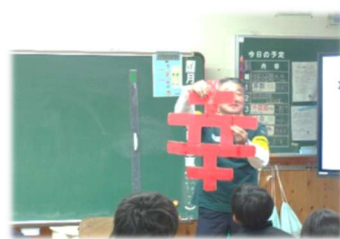
どんな力をつけばいいのかな?

自ら考え行動する力

思いを伝え合う力

粘り強く取り組む力

世界に目を向けて活躍できる人に!



菊陽町の教育の重点として「**グローバル人材の育成**」が掲げられています。「グローバル人材」に求められる要素として、語学力のみならず、相互理解や価値創造力、社会貢献意識など、国際理解に関する要素が含まれています。世界に目を向けて活躍できる人に育ってほしいという願いを込めて、毎年6年生を対象に菊陽町教育長が授業を行われています。南アフリカ共和国のヨハネスブルク日本人学校で勤務し、そこで経験されたことをもとに、これから子どもたちに磨いてほしい力について伝えられました。南アフリカで出会った一人の男の子とのエピソードを話しながら、自分たちの生活がいかに恵まれているかを考えさせられました。また、今も残る人種差別の現実にも触れられ、いじめや差別のない社会の創り手となってほしいという願いも伝えられました。最後に、「『辛』という文字に一本棒を付け加えると『幸』という文字になります。皆さんの周りに辛い思いをしている人はいませんか。その人に寄り添う棒となり、共に幸せを感じられる人になってください。」という話もされました。この貴重な授業を通して、物事を広い視野から見つめ、考え、自ら行動できる大人へと育ってほしいと思いました。

<後期後半の主な予定>

1月21日(水) 自分で弁当を作る日
2月2日(月) 中学校説明会(6年のみ)
2月26日(木) 授業参観・教育講演会・学級懇談会
3月23日(月) 卒業証書授与式

1月22日(木) 5年金融教育
2月5日(木) 新入児体験入学
3月6日(金) お別れ遠足
3月24日(火) 修了式(1～5年生)